

28年5月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年5月1日～ 28年5月10日

2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
5月分の回答企業数は8社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 26/5月 | 26/6月 | 26/7月 |
|----------|--------|-------|-------|--------|
| 仕入 動向 | 国産材製材品 | 12.5 | 25.0 | 18.8 |
| | 外材製材品 | 12.5 | 12.5 | 0.0 |
| | 構造用集成材 | 21.4 | 28.6 | 28.6 |
| 消費 動向 | 国産材製材品 | 18.8 | 25.0 | 18.8 |
| | 外材製材品 | 18.8 | 18.8 | 18.8 |
| | 構造用集成材 | 28.6 | 28.6 | 28.6 |
| 在庫 動向 | 国産材製材品 | 0.0 | △ 6.3 | △ 12.5 |
| | 外材製材品 | 18.8 | 12.5 | 6.3 |
| | 構造用集成材 | △ 7.1 | 0.0 | △ 7.1 |

・プレカット部材の仕入れは、国産材、外材及び構造用集成材共に7月の一部横ばいを除いて、3カ月連続して増加。

・プレカット部材の消費は、国産材、外材及び構造用集成材共に3カ月連続して増加。

・プレカット部材の在庫は、国産材は5月の横ばいが、6月、7月は減少。外材は3カ月連続して増加。構造用集成材は5月の減少が、6月は横ばい、7月は再び減少。

(2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

| 品目 | 26/5月 | 26/6月 | 26/7月 |
|-----|--------|-------|-------|
| 受注 | △ 7.1 | 14.3 | 21.4 |
| 加工 | 0.0 | 28.6 | 21.4 |
| 受注残 | △ 21.4 | △ 7.1 | 0.0 |

・プレカット工場の受注は5月の減少が、6月、7月は増加。加工は5月の横ばいが、6月、7月は増加。受注残は5月、6月の減少が、7月は横ばい。

モニターからのコメント

(加工用部材荷動き)

・製品は潤沢にあり価格は低迷。消費は低水準で推移。需要膨らまず在庫量増加。
・外材は仕入れを少なくしているが、入港待ちも多い。国産集成材の納期遅れが多少みられる。外材の消費は減、在庫が落ち着いたら国産材の消費を増加させる。外材製材品在庫がコントロール出来ていない状況。他は予定通りの在庫数量。
・梅雨入りまでは仕事が順調にありそう。基本的に在庫はしない(必要最小限)ので、変化は余りない。

(受注動向)

・大型連休で数量が伸びず、後半に若干の影響を残すかも。
・受注量は余りよくない。上向きになる見通しは今のところなし。
・6月、梅雨入り時期で、受注、加工減少する可能性あり。
・受注量は増加傾向にあるが、今ひとつ盛り上がり欠ける。